

安心して暮らせるまちも 認知症になっても

高齢化の進行とともに認知症の人は増えており、5年後には、高齢者の5人に1人が認知症になると言われています。認知症には若くして発症する若年性認知症もあり、高齢者だけの問題ではありません。本市は、あなたや家族が認知症になっても安心して暮らせるまちを目指しています。



認知症サポーターキャラバンのマスコットキャラクター「ロバ隊長」



認知症の人の居場所が分からなくなったときに備えて

認知症の人は、何か目的があって外出したものの、自分が今いる場所が分からなくなり、道に迷ってしまうことがあります。市では、こうしたときに備えるさまざまな事業に取り組んでいます。
※利用できる要件など詳しくは、高齢福祉課へお問い合わせください

認知症高齢者等SOSメール配信事業

メールで探す

連絡を受けた警察や市が、SOSメール見守り協力者（メール受信の登録をした市民など）に、道に迷った人の情報をメールで配信し、情報提供を呼びかけます。道に迷う心配がある人については、素早く情報発信できるように、事前にその人の特徴などの情報を登録しておくこともできます。



SOSメール見守り協力者の登録をお願いします。現在約4,400人が登録しています。詳しくは、市ホームページ（[HP](http://www.city.yokkaichi.lg.jp) ID 1001000003687）をご覧ください。

行方不明高齢者位置情報探知システム (GPS) 貸与 (10月から受け付け予定) GPSで探す

高齢者が身に着けやすい小型のGPSを貸し出します。かばんに入れておいたり、靴に入れ込んだり、お守りとして首から下げたりして使います。家族などが、パソコンやスマートフォンなどで専用サイトにアクセスして探索することができます。

認知症高齢者等個人賠償責任保険等負担金 (10月から受け付け予定) もしもの時に備えて

誤って線路に立ち入って電車を止めてしまった、他人のものを壊してしまったなどの賠償責任を負った場合に備えて、個人賠償責任保険に市が加入します。1事故当たり最高1億円が保険会社から支払われます。

保護情報共有サービス (10月から受け付け予定) QRコードで探す

服やつえなどに貼ることができるQRコードラベルを配布します。認知症の人を発見した人がコードを読み取り、インターネット上の掲示板にアクセスすることで、速やかに安否を家族などに知らせることができます。掲示板は、発見した人と家族など限られた人だけが見ることができます。



道に迷っている高齢者を見掛けたら

その人は認知症で、自分が今どこにいるのか分からなくなってしまう可能性があります。優しく声を掛けて、話を聞いてください。

声掛けのポイント

- ・驚かせないように、ゆっくり斜め前から近づく(後ろからいきなり声を掛けない)
- ・笑顔であいさつをしてから、「どちらへ行かれますか?」などとゆっくりと話しかける
- ・近くに交番があれば案内する。交番がない、本人が行きたがらないなどの場合は、警察や市役所に連絡する

認知症について理解し、みんなで見守るまちへ



認知症フレンズ
きたすみ
北角智子さん

職場の小山田記念温泉病院で認知症の人と関わり、認知症の症状や認知症の人への対応など、正しい知識を学びたいと思い、認知症サポーター養成講座を受講しました。接し方を学んだおかげで、道に迷って不安そうな人に出会ったときに、「どうかしましたか」と声を掛け、一緒に家を探して無事に送り届けることができました。

その後、認知症フレンズとして活動するために、認知症フレンズ養成講座を受講し、啓発イベントの受け付けなどをしたり、認知症カフェで認知症の人や家族と話したり、講演会で配布するロバ隊長のぬいぐるみを作ったりしています。皆それぞれができる範囲で活動していますので、ぜひ、気負わずに参加していただきたいです。



認知症サポーター養成講座

認知症の症状や認知症の人への対応方法など基礎知識を学ぶ講座です。随時開催していますので、詳しくは、ホームページ（[HP](http://www.city.yokkaichi.lg.jp) ID 1001000003685）をご覧ください。か、高齢福祉課へお問い合わせください。

市長と両副市長も受講しました

認知症フレンズ養成講座

認知症サポーターを受講した人が、さらに一步踏み出し、認知症の人や家族と一緒に歩むパートナーとして、積極的に活動するための講座です。詳しくは、広報よっかいち8月下旬号に掲載します。

認知症市民公開講座

9月12日(土) 13:30~16:00(予定) ■総合会館8階 視聴覚室
認知症の人や家族を理解し、地域みんなが安心できる生活を続けていくために、一緒に考える講座です。詳しくは、広報よっかいち7月下旬号表紙をご覧ください。

